



Minamata

第4回

公害資料館連携 フォーラム in 水俣

水俣で築いてきた公害を伝える取り組みを学び、他地域の公害地域再生の取り組みを共有することで、これからの公害教育と公害資料館の可能性について議論します。



【基調講演】

無名な者たちの公共性
私の小さな影響力について

望月 優大 さん

スマートニュース株式会社
マネージャ グロース/パブリック担当

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。
経済産業省、Googleなどを経て、現職では
NPO支援等を担当。個人としてもブログや外
部メディアを通じた発信を行っている。関心領
域は社会問題や民主主義など。



とき

2016年12月16日(金)~18日(日)



ところ

水俣市立水俣病資料館

〒867-005 熊本県水俣市明神町53 TEL 0966-62-2621



参加費

基調講演資料代 500円
基調講演+分科会資料代 3,500円
フィールドワーク 5,000円



スケジュール

12月16日(金) 13:30-17:00 フィールドワーク 2コース(先着80名) / 新水俣駅発

12月17日(土) 13:00-15:00 基調講演
15:15-17:45 フォーラム 分科会1
18:30-20:30 交流会(会場 湯の児スペイン村福田農場)

12月18日(日) 9:30-12:00 フォーラム 分科会2
13:00-15:00 フォーラム 全体会

第4回公害資料館連携フォーラムin水俣実行委員会(順不同)

・新潟県立環境と人間のふれあい館-新潟水俣病資料館- ・一般社団法人あがのがわ環境学舎 ・一般財団法人神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会
・一般財団法人環不知火プランニング ・富山県立イタイイタイ病資料館 ・四日市公害と環境未来館 ・公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団) 付属西淀川・公害と環境資料館
・公益財団法人水島地域環境再生財団 ・公害資料館ネットワーク ・全国公害被害者総行動実行委員会
・法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ ・国立水俣病総合研究センター ・一般財団法人水俣病センター相思社 ・株式会社ミナコレ
・水俣市立水俣病資料館 ・立教大学共生社会研究センター (2016年8月16日現在)

主催: 第4回公害資料館連携フォーラムin水俣実行委員会(委員長: 水俣市立水俣病資料館館長) 共催: 水俣市、日本環境教育学会

後援: 環境省、熊本県、鹿児島県、熊本県教育委員会、鹿児島県教育委員会、水俣市教育委員会、みなまたエコタウン協議会、ESD活動支援センター、全日本博物館学会、日本展示学会、日本環境教育フォーラム

協力: 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

2016年度地球環境基金助成事業

日付	分科会・タイトル	担当委員(敬称略)	ゲスト	紹介文
12/17 土	17-1 [公害入門] 公害とは何か-日本公害史の教訓	清水 万由子 (龍谷大学)	宮本 憲一 (滋賀大学名誉教授・大阪市立大学名誉教授)	公害研究の第一人者である宮本憲一先生から、公害問題の過去から現在まで「公害の基本」をお話しいただきます。公害関係の業務を担当される行政担当者や、これから公害教育に取り組みたい人におすすめの講座です。
	17-2 [資料保存] 公害資料の整理と公開	清水 善仁(法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ)、小田 康徳(西淀川・公害と環境資料館)	水俣市立水俣病資料館、国立水俣病総合研究センター水俣病情報センター、水俣病センター相思社水俣病歴史考証館、熊本学園大学水俣学研究センター	公害をめぐって多様な資料がつけられました。この整理と公開は公害資料館に課せられた使命の一つです。本分科会では、熊本水俣病の資料を収蔵する各機関の取り組みを通して、公害資料の整理と公開のあり方について考えます。
	17-3 [地域づくり] 公害地域の関係性をつくる	川中 大輔(シチズンシップ共育企画)、吉永 利夫(株式会社ミナコレ)、塩嶋 敏史(みずしま財団)	水俣の企業人 公害地域からの報告	被害者・加害者・地域住民それぞれの思いや考え、認識の違いによる困難と向き合いつつ、対話や協働の関係性をどのように作りだしていくのか。現場で垣間みられる前進の動きに着目して検討していきます。
	17-4 [学校1] 水俣における様々なアプローチの公害教育の実践から学ぶ	安藤 聡彦(埼玉大学)、高田 研(都留文科大学)、西村 仁志(広島修道大学)	梅田 卓治(水俣芦北公害研究サークル代表) 松本 広隆(水俣市立袋中学校教諭)	水俣の地元教員有志によって40年活動を重ねる「水俣芦北公害研究サークル」。水俣市教育委員会発行の副読本を活用した環境教育としての実践。本分科会では水俣病に関する二つの異なる視点の実践報告を受け議論します。
12/18 日	18-1 [展示] 展示を通じて他者の視点を知る・感じる	北村 美香(結creation/琵琶湖博物館特別研究員)	庄中 雅子(国立科学博物館)	展示に込められたメッセージは、見る人によって受け取り方や感じ方がそれぞれ違います。言葉をもとに、参加される皆さんと展示をじっくり見ること、他者の視点を共有し、展示に対する新しい学びを共有します。
	18-2 [企業] 企業と考える水俣の未来	五十嵐 実(日本自然環境専門学校)、藤江 徹(あおぞら財団)、清水 万由子(龍谷大学)	渡邊 輝樹(エコタウン協議会会長、アクトビリーサイクリング(株)取締役) 福田 豊樹(株)福田農場ワイナリー代表取締役	企業は地域社会の一員として、環境やまちづくりなど、社会への貢献が求められる時代です。水俣病の経験を経て、水俣の地元企業ではどのような試みがなされているのでしょうか。地域に対する思いとその活動について報告を受けます。
	18-3 [教育旅行] 公害からの学びをプロデュース	川中 大輔(シチズンシップ共育企画)	吉永 利夫(株式会社ミナコレ代表取締役)	水俣には各地から、様々な世代の人々が学びを求めて訪れます。人々を惹きつけ、地域の協力者を巻き込む教育旅行はどのように組み立てられているのでしょうか。現在の課題から今後の目指すべき方向も含めて学んでいきます。
	18-4 [学校2] 公害教育解体新書	安藤 聡彦(埼玉大学)、高田 研(都留文科大学)、西村 仁志(広島修道大学)	波多野 孝(元小学校教員・あがのがわ環境学舎)	かつて「公害列島日本」と言われるほど全国で引き起こされた公害。その影響に比して公害教育は必ずしも広く取り込まれはしませんでした。それはなぜか。手探りで公害教育の普及を試みた現場からの報告を受け考えます。

フィールドワーク

12/16 金	① 現在の課題として水俣病を考えるコース(水俣病センター相思社案内)	チッソ正門周辺、チッソ旧工場周辺、大廻りの塘・八幡残渣プール、百間排水口、水俣湾埋立地、坪谷漁港、茂道漁港、水俣病歴史考証館見学
	② JNC(チッソ)見学コース(環不知火プランニング案内)	水俣フィールドトリップ(百間排水口、親水護岸、茂道、坪谷、湯堂など)水俣病歴史考証館見学、JNC(株)水俣製造所 レクチャー&工場見学

申し込み先: **第4回公害資料館連携フォーラム in 水俣** 現地実行委員会事務局 水俣市立水俣病資料館

〒867-0055 熊本県水俣市明神町53 TEL:0966-62-2621 FAX:0966-62-2271 メール:mimuseum195651@gmail.com

氏名 (ふりがな)	TEL	
所属	FAX	
住所 〒	メールアドレス	
フォーラム参加ご希望の分科会名と番号(人数調整あり)	16日フィールドワーク参加申込 5,000円	① ②
	交流会 4,000円	申込する 申込しない
	17日 第1希望 第2希望	
	18日 第1希望 第2希望	

【宿泊情報】(詳しくはホームページをご覧ください <http://kougai.info/>)

- スーパーホテルCity 水俣(0966-63-9000シングル朝食付5,620円) ■ 水俣病センター相思社(0966-63-5800素泊まり2,400円)
- 湯の児温泉(会場までバス送迎あり)・湯の児海と夕やけ(0966-62-6262シングル朝食付8,500円)・昇陽館(0966-63-4121シングル朝食付9,710円)
- 湯の鶴温泉(会場までバス送迎あり)・あさひ荘(0966-68-0111シングル朝食付7,000円)・喜久屋旅館(0966-68-0211シングル朝食付4,500円)

※個人情報は水俣市立水俣病資料館にて厳重に管理し、イベントの連絡以外の目的では使用いたしません。